

**CHP (Center for Health Promotion)**

**◆Project DIET ( Dietary Improvement and Education with TAKE 10!®)  
“途上国栄養改善と栄養教育”プロジェクト**

活動ビジョン・ゴール	年度目標
<p>途上国、新興国における官民連携の栄養改善の取組み「栄養改善事業推進プラットフォーム」(NJPPP) のプロジェクトとして、工場など職場の栄養改善プロジェクトを東南アジア各国で推進</p>	<p>&lt;フィリピン&gt; 「フィリピンの栄養強化米プロジェクト 2022 (調査研究)」 2024 年パリ栄養サミットに向けプロジェクトの総括を実施。</p> <p>&lt;ベトナム&gt; 「ベトナムにおける野菜の摂取行動に影響を与える要因調査」 ビジネスモデル構築、並びに 2024 年パリ栄養サミットに向けプロジェクトの総括を実施。</p> <p>&lt;ミャンマー&gt; 「完全オンラインによるブロックチェーン技術を応用した職場における栄養教育」 栄養教育推進に焦点を当てたビジネスモデル構築に向けた展開を計画。</p> <p>&lt;インドネシア&gt; 「インドネシアにおける健康的な食事の普及に関する調査 2022」 ビジネスモデル構築、並びに 2024 年パリ栄養サミットに向けプロジェクトの総括を実施。</p>

	進捗・課題	予定・行動計画	関連団体等
<p>1,2月</p>	<p>&lt;フィリピン&gt; NJPPP 運営委員会でのプロジェクト承認を受け、FNRI との契約、および国内関係部署との三社契約を完了。3月の報告書提出に向け、定期的 Web 会議 (2/2、3/6) を実施し、進捗を確認。</p> <p>&lt;ベトナム&gt; NJPPP 運営委員会でのプロジェクト承認を受け、契約書を締結。ベトナム版 TAKE10!による「個性と食事摂取との関連性」を調査。</p> <p>&lt;ミャンマー&gt;</p>	<p>&lt;フィリピン&gt; 年度末に報告書提出。来年度の展開を考慮し、成果を導く。</p> <p>&lt;ベトナム&gt; 年度末に報告書提出。来年度の展開を考慮し、成果を導く。</p> <p>&lt;ミャンマー&gt; 来年以降、現地企業の CSR 事業として、従業員の健康推進を目的としたプロジェクトとしての展開をめざす。</p> <p>&lt;インドネシア&gt; 年度末に報告書提出。来年度</p>	<p>&lt;フィリピン&gt; Food and Nutrition Research Institute (FNRI: フィリピン食品健康研究所)</p> <p>&lt;ベトナム&gt; National Institute of Nutrition (ベトナム栄養研究所)</p>

	<p>NJPPP 運営委員会でのプロジェクト承認を受け、契約書を締結。定期的な Web 会議を通じ、導入アプリケーション、インセンティブについて確認。栄養教育ビデオを通じ、参加者に栄養情報を提供。</p> <p>&lt;インドネシア&gt;</p> <p>健康意識の高い若い女性を対象とし、野菜を身近な存在にすることを旨とする。定期的な Web 会議で進捗確認。ミールキットとレシピの提供により、対象者の野菜摂取の向上が見られると同時に食材（例：ブロッコリー）による対応の違いも散見されている。3月の報告書期限に向けた対応実施。</p>	<p>の展開（ビジネスモデル構築）を念頭に本年度成果を導く。</p>	<p>&lt;ミャンマー&gt;</p> <p>National Institute of Nutrition</p> <p>&lt;インドネシア&gt;</p> <p>ボゴール農科大学（現 IPB Univ.）</p> <p>SUN Business Network Indonesia</p>
3,4月	<p>&lt;フィリピン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 2022 年度プロジェクト報告を NJPPP 運営委員会で実施。同日、報告書提出（3/16）。</li> <li>▶ 関係団体で 2023 年度プロジェクト推進について相談（4/12）。</li> </ul> <p>&lt;ベトナム&gt;</p> <p>2022 年度プロジェクト報告書を NJPPP に提出（3/13）。NJPPP 運営委員会で報告を実施（3/16）。</p> <p>&lt;ミャンマー&gt;</p> <p>2022 年度プロジェクト報告書を NJPPP に提出（3/13）。NJPPP 運営委員会で報告を実施（3/16）。</p> <p>&lt;インドネシア&gt;</p> <p>2022 年度プロジェクト報告を NJPPP 運営委員会で実施（3/16）。報告書提出（3/17）。</p>	<p>&lt;フィリピン&gt;</p> <p>NJPPP 運営委員会（6/1）にむけ、プロジェクト提案を検討。</p> <p>&lt;ベトナム&gt;</p> <p>NJPPP 運営委員会（6/1）にむけ、プロジェクト提案を検討。</p> <p>&lt;ミャンマー&gt;</p> <p>現地企業の CSR 事業として、従業員の健康推進を目的としたプロジェクトの展開をめざす。</p> <p>&lt;インドネシア&gt;</p> <p>NJPPP 運営委員会（6/1）にむけ、プロジェクト提案を検討。</p>	<p>&lt;フィリピン&gt;</p> <p>Food and Nutrition Research Institute（FNRI：フィリピン食品栄養研究所）</p> <p>&lt;ベトナム&gt;</p> <p>National Institute of Nutrition（ベトナム栄養研究所）</p> <p>&lt;ミャンマー&gt;</p> <p>National Institute of Nutrition</p> <p>&lt;インドネシア&gt;</p> <p>ボゴール農科大学（現 IPB Univ.）</p> <p>SUN Business Network Indonesia</p>
5,6月	<p>&lt;フィリピン&gt;</p> <p>2022 年度プロジェクト最終報告書を受領（6/19）。内容確認後、NJPPP に提出。</p> <p>&lt;ベトナム&gt;</p> <p>2023 年度提案について、打合せ</p>	<p>&lt;フィリピン&gt;</p> <p>2023 年度提案について 7 月 4 日に打合せを実施。</p> <p>&lt;ベトナム&gt;</p> <p>早期の打ち合わせを計画。</p> <p>&lt;ミャンマー&gt;</p>	<p>&lt;フィリピン&gt;</p> <p>Food and Nutrition Research Institute（FNRI：フィリ</p>

	<p>を実施していない。</p> <p>&lt;ミャンマー&gt; クーデターによる政情不安が続いており、現地でのプロジェクト展開は厳しい状況。農林水産省とも情報共有している。</p> <p>&lt;インドネシア&gt; 2023年度実施プロジェクト（ビジネスコンセプトに関する調査「顧客反応、市場分析等」）について、農林水産省を交え、打ち合わせを実施。ILSI Japan の関わり方を検討。</p>	<p>現地の状況を注視する。</p> <p>&lt;インドネシア&gt; ILSI Japan の関わり方を明確にした後、NJPPP へのプロジェクト提案予定。</p>	<p>ピン食品栄養研究所)</p> <p>&lt;ベトナム&gt; National Institute of Nutrition (ベトナム栄養研究所)</p> <p>&lt;ミャンマー&gt; National Institute of Nutrition</p> <p>&lt;インドネシア&gt; ボゴール農科大学 (現 IPB Univ.) SUN Business Network Indonesia</p>
7,8月	<p>&lt;フィリピン&gt; 実施会社の組織替えがあり、担当者の変更があった。</p> <p>&lt;ベトナム&gt; 担当者から、「今後、ベトナムでの取組みを深掘りするか、他国へ展開して新たな取組みを開始するかについて、現在社内で検討中」との連絡あり (8/19)。</p> <p>&lt;ミャンマー&gt; クーデターによる政情不安は一層深刻な状況。</p> <p>&lt;インドネシア&gt; 2023年度実施プロジェクトが承認された (8/18)。契約書作成中。</p>	<p>&lt;フィリピン&gt; 2023年度提案について、再度打ち合わせを提案中。</p> <p>&lt;ベトナム&gt; 10月を目途にアジアでの戦略を練るとのこと。</p> <p>&lt;ミャンマー&gt; 現地の状況を注視継続。</p> <p>&lt;インドネシア&gt; プロジェクト開始に向け、役割分担を明確化していく。</p>	<p>&lt;フィリピン&gt; Food and Nutrition Research Institute (FNRI: フィリピン食品栄養研究所)</p> <p>&lt;ベトナム&gt; National Institute of Nutrition (ベトナム栄養研究所)</p> <p>&lt;ミャンマー&gt; National Institute of Nutrition</p> <p>&lt;インドネシア&gt; ボゴール農科大学 (現 IPB Univ.) SUN Business Network Indonesia</p>
9,10月	<p>&lt;フィリピン&gt; フィリピン FNRI への今年度提案内容を「栄養強化米のソーシャルマーケティング調査」に決定し打診したところ、ソーシャルマーケティングより先ず栄養強化米の</p>	<p>&lt;フィリピン&gt; 今年度提案は断念</p> <p>&lt;ベトナム&gt; 今年度提案について、実施会社の意向の再確認を行う予定</p> <p>&lt;ミャンマー&gt;</p>	<p>&lt;フィリピン&gt; Food and Nutrition Research Institute (FNRI: フィリピン食品栄養研</p>

	<p>有用性研究を実施したいと返答があり、構想が合わないため、今年度の提案は見送る方針</p> <p>&lt;ベトナム&gt; 進捗なし</p> <p>&lt;ミャンマー&gt; 進捗なし</p> <p>&lt;インドネシア&gt; Web 会議を実施し、本年度の役割は対象者への質問内容の確認、及び回答の解析であることを確認</p>	<p>状況注視を継続</p> <p>&lt;インドネシア&gt; 質問作業のフォロー並びに回答の解析</p>	<p>研究所</p> <p>&lt;ベトナム&gt; National Institute of Nutrition (ベトナム栄養研究所)</p> <p>&lt;ミャンマー&gt; National Institute of Nutrition</p> <p>&lt;インドネシア&gt; ボゴール農科大学 (現 IPB Univ.) SUN Business Network Indonesia</p>
11, 12 月	<p>&lt;フィリピン&gt; 本年度プロジェクト立案無し</p> <p>&lt;ベトナム&gt; 本年度プロジェクト立案無し</p> <p>&lt;ミャンマー&gt; 本年度プロジェクト立案無し</p> <p>&lt;インドネシア&gt; 1 回/月のペースで Web 会議を実施し、ビジネスモデル構築に向けたポイントについて協議</p> <p>(1) 提供する製品形態</p> <p>(2) 食事摂取推奨量(主要栄養素)</p> <p>(3) 健康的な食事の基準</p> <p>(4) 質問票の内容(消費者の購買意欲を高める手法、建前の正解ではなく本質を聞き出す方法)</p> <p>(5) Take10 Sheet の使用</p>	<p>&lt;フィリピン&gt; —</p> <p>&lt;ベトナム&gt; —</p> <p>&lt;ミャンマー&gt; —</p> <p>&lt;インドネシア&gt; Web 会議を通じてプロジェクトのフォローを継続</p>	<p>&lt;フィリピン&gt; Food and Nutrition Research Institute (FNRI: フィリピン食品栄養研究所)</p> <p>&lt;ベトナム&gt; National Institute of Nutrition (ベトナム栄養研究所)</p> <p>&lt;ミャンマー&gt; National Institute of Nutrition</p> <p>&lt;インドネシア&gt; ボゴール農科大学 (現 IPB Univ.) SUN Business Network Indonesia</p>